

許可申請 提出図面一覧

※提出区分の「○」は全て、「△」は備考欄●の条件に該当する場合に提出が必要となります。

綴じ順	図面の内容			備考	提出区分	
	図面の名称	縮尺	明示すべき事項		宅地造成 特定盛土等	土石の堆積
13	位置図	1/10,000 以上	・方位、道路及び目標となる地物		○	○
14	地形図	1/2,500 以上	・方位及び土地の境界線	・等高線は、2mの標高差を示すものとする。	○	○
15	土地の平面図	1/2,500 以上	・方位及び土地の境界線 ・盛土又は切土をする土地の部分、崖、擁壁、崖面崩壊防止施設、排水施設及び地滑り抑止杭又はグラウンドアンカーその他の土留 の位置	・断面図を作成した箇所に断面図と照合できるよう記号を付すること。 ・植栽、芝張り等の措置を行う必要がない場合は、その旨を付すること。 ・擁壁、崖面崩壊防止施設及び排水施設について、申請書と照合できるように番号を付すること。 ・盛土の範囲は青色、切土の範囲は赤色に着色すること。	○	－
		1/500 以上	・方位及び土地の境界線 ・勾配が10分の1を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置を講ずる位置及び当該措置の内容 ・空地の位置 ・柵その他これに類するものを設置する位置 ・雨水その他の地表水を有効に排除する措置を講ずる位置及び当該措置の内容 ・堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置を講ずる位置及び当該措置の内容	・断面図を作成した箇所に断面図と照合できるように記号を付すること。 ・空地、雨水その他の地表水による堆積した土石の崩壊を防止するための措置及び堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置について、申請書と照合できるように番号を付すること。	－	○
16	土地の断面図	1/2,500 以上	・盛土又は切土をする前後の地盤面	・高低差の著しい箇所について作成すること。	○	－
		1/500 以上	・土石の堆積を行う土地の地盤面	・申請書の土石の堆積の最大堆積高さ及び土石の堆積を行う土地の最大勾配が照合できるように断面図を作成すること。	－	○
17	求積図	1/500 以上	・申請地全体の面積 ・盛土、切土又は土石の堆積範囲の面積	・盛土の範囲は青色、切土の範囲は赤色に着色すること。	○	○
18	排水施設の平面図	1/500 以上	・排水施設の位置、種類、材料、形状、内法寸法、延長、勾配 ・水の流れの方向 ・吐出口の位置 ・放流先の名称、形状、寸法、勾配	・雨水排水を対象とする。 ・流域図を添付すること。	○	－
19	排水施設構造図	1/50 以上	・構造詳細図	・新規に設置する排水施設を対象とする	○	
20	崖の断面図	1/50 以上	・崖の高さ、勾配 ・土質（土質の種類が2以上であるときは、それぞれの土質及びその地層の厚さ） ・盛土又は切土をする前の地盤面 ・崖面の保護の方法	・擁壁で覆われる崖面については、土質に関する事項は示すことを要しない。	○	－

許可申請 提出図面一覧

※提出区分の「○」は全て、「△」は備考欄●の条件に該当する場合に提出が必要となります。

綴 じ 順	図面の内容			備考	提出区分	
	図面の名称	縮尺	明示すべき事項		宅地造成 特定盛土等	土石の堆積
21	擁壁の断面図	1/50 以上	・擁壁の寸法及び勾配 ・擁壁の材料の種類及び寸法 ・裏込めコンクリートの寸法 ・透水層の位置及び寸法 ・擁壁を設置する前後の地盤面 ・基礎地盤の土質 ・基礎杭の位置、材料及び寸法		○	－
22	擁壁の背面図	1/50 以上	・擁壁の高さ ・水抜穴の位置、材料及び内径 ・透水層の位置及び寸法		○	－
23	擁壁の展開図	指定なし	・擁壁の延長、高さ ・根入れ深さ（地盤高線） ・水抜穴の位置		○	－
24	崖面崩壊防止施設の断面図	1/50以上	・崖面崩壊防止施設の寸法及び勾配 ・崖面崩壊防止施設の材料の種類及び寸法 ・崖面崩壊防止施設を設置する前後の地盤面 ・基礎地盤の土質 ・透水層の位置及び寸法		○	－
25	崖面崩壊防止施設の背面図	1/50 以上	・崖面崩壊防止施設の寸法 ・水抜穴の位置、材料及び内径 ・透水層の位置及び寸法	・水抜穴及び透水層に係る事項 については、必要に応じて記載 すること。	○	－
26	措置施設構造図	1/50 以上	・構造詳細図	・堆積した土石の周囲に設置する 構造物を対象とする。		○

注　：「15土地の平面図」以降の図面は、設計者の所属及び氏名を記入した上で、原則としてA 3判で作成し、A 4判（片軸折）に綴じてください。